

完了後の評価個表

整理番号 23-1

事業名	森林居住環境整備事業	都道府県	鹿児島県
地区名	出水	事業実施主体	鹿児島県
関係市町村	出水市	管理主体	出水市
事業実施期間	H14 ~ H19 (6年間)	完了後経過年数	5年間

事業の概要・目的	<p>① 位置等 出水市は、鹿児島県の北西部に位置し、東に矢筈連邦を仰ぎ、南には紫尾山を中心に山塊が東西に延び山地の多い地勢であり、林野率は64%である。</p> <p>② 森林の状況 当地区の森林面積は21,105ha、そのうち民有林面積は12,418haとなっている。 また、民有林におけるスギ・ヒノキを主体とする人工林面積は8,612haで人工林率は約69.3%となっている。そのうち35年生以下の林分が約22.2%を占めており、森林の持つ多面的機能を高度に発揮させるために森林の整備の実施が期待されている。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 当地区においては、これまでに8,612haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているが、根幹となる林道等の路網が未整備であったため適切な森林施業（保育・間伐等）の遅れが目立っている。 また、木材価格の低迷により森林所有者等の森林整備に対する意欲の低下が懸念されているが、一方では森林の有する公益的機能の高度発揮に対する期待も高まっている。 森林基幹道を開設することにより、林業生産基盤の整備のみならず森林の公益的機能の高度発揮などを目的として森林整備を実施するとともに、その手段となる施業の必要な森林への到達時間の短縮、労働力や資材の効率的な移動等により労働環境の改善や施業コストの低減を図り、森林整備を促進することを目的に出水市定之段地区から出水市上大川内地区を連絡する線形で林道を整備したものである。</p> <p>(事業概要)</p> <p>森林基幹道整備 北薩1号線(出水市) 車道幅員 4.00m 開設延長 5,035m 利用区域面積 1,716ha</p> <p>総事業費 1,715,700千円 (当初総事業費 2,037,000千円)</p>
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成25年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 なお、利用区域内の森林について森林施業の見直し(面積の増及び長伐期化)等により総便益が増加し、森林整備に要する費用を計上したことにより総費用が増加した。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>4,039,414千円</td> <td>(事業採択時 2,276,810千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>3,031,837千円</td> <td>(事業採択時 1,811,656千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>1.33</td> <td>(事業採択時 1.26)</td> </tr> </table>	総便益(B)	4,039,414千円	(事業採択時 2,276,810千円)	総費用(C)	3,031,837千円	(事業採択時 1,811,656千円)	分析結果(B/C)	1.33	(事業採択時 1.26)
総便益(B)	4,039,414千円	(事業採択時 2,276,810千円)								
総費用(C)	3,031,837千円	(事業採択時 1,811,656千円)								
分析結果(B/C)	1.33	(事業採択時 1.26)								
② 事業効果の発現状況	<p>① 基幹林道開設により、施業地への到達時間の短縮と施業コストの低減が図られ、森林整備や木材搬出が増加するなど林業生産活動が活発になってきている。</p> <p>② 基幹林道の開設及び舗装に伴い、輸送力の向上及び安全性の向上が図られている。</p>									
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>当事業により開設された林道は、出水市が定めた林道維持管理規定に基づき管理されている。維持管理状況は概ね良好である。</p>									
④ 事業実施による環境の変化	<p>森林所有者の森林施業の実施に対する意欲が向上してきている。また、今まで間伐等はばらばらに施業が実施されていたが、林道が開設されたことにより、施業地がまとめられることにより、現場間の移動距離が短縮された。</p>									
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>路網の整備により高性能林業機械が導入され効率的な森林施業による労働環境の改善が図られるとともに、森林組合等の事業体で新規雇用されるなど雇用の拡大が図られている。</p>									
⑥ 今後の課題等	<p>森林施業の実施に対する意欲は徐々に推進してきているが、木材価格の低迷等により間伐等の実施状況が十分とは言えない状況であることから、森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>基幹林道の舗装により輸送力の向上及び安全性の向上は図られているが、林道維持管理規定に基づき管理を今後とも適切に林道等の路網の維持管理を行い、更に輸送力の向上を図る必要がある。</p> <p>・地元の意見： 林道開設後は、集約化してさらに森林整備(間伐・皆伐)を計画的に行う必要がある。(鹿児島県)</p> <p>林道開設後は、移動時間の短縮や輸送時間の短縮が図られるようになった。引き続き林道維持管理規定に基づき管理を行い、また、林道沿線の間伐や皆伐が計画的に実施されるよう林業事業体等に未整備地等の情報発信をしていきたい。(出水市)</p>									

整理番号	23-2
------	------

評価結果	<ul style="list-style-type: none">・必要性： 森林施業を効率的に行う基盤となる路網の整備により間伐等の森林整備の推進が見られることから、事業の必要性が認められる。・効率性： 現地に応じた工種・工法で計画が作成されるとともに、事業実施にあたっては波形線の採用による切・盛土量の抑制等コスト縮減に努め、総事業費の縮減を図っていることから、効率性が認められる。・有効性： 林道整備により森林へのアクセスが容易となり、作業効率が向上した結果、木材生産・森林整備が促進されており、今後も効果の発現が見込まれることから、事業の有効性は認められる。
------	--

便 益 集 計 表

事業名：森林居住環境整備事業

都道府県名：鹿児島県

地域(地区)名：^{いずみ}出水

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	105,667	
	木材利用増進便益	43,579	
	木材生産確保・増進便益	106,793	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	797	
	森林管理等経費縮減便益	4,407	
	森林整備促進便益	3,450,719	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	308,238	
維持管理費縮減便益		19,214	
総 便 益 (B)		4,039,414	
総 費 用 (C)		3,031,837	
費用便益比	$B \div C = \frac{4,039,414}{3,031,837} = 1.33$		

森林環境保全整備事業 出水市計画(鹿児島県) 事業概要図

